

今日の力

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

大 胆 に 生 き ま し ょ う !

聖書朗読 マタイ 25:14～30

神が私たちに与えてくださったものは、おくびょうの霊ではなく、力を愛と慎みとの霊です。 Ⅱテモテ 1：7

オリンピックのソリ競技は、スタートすると当然のごとく下に向かって行きます。氷が滑りやすい事はもちろん引力の法則があるので、どんなアマチュアでもゴールまで行き着く事ができます。トップクラスの競技者は千分の一コンマの差で勝ち負けを競います。手や頭、ほんの数ミリのズレ、思いがけない風などが結果を左右します。

ソリ競技は直滑降ではなく、曲がりくねったカーブや終了間際の滑走が難しいものになっています。そして、そこを大胆に滑れば金メダルが手に入ります。しかし、滑り方にジレンマがあるのです。競技者が頭を持ち上げればコースの曲がり具合はよく見えますが、風の抵抗を受けることになります。頭を下げていけば風の抵抗は避けられますが、事故を起こす危険性が高まります。

人生でも同じ事が言えます。頭を上げて起こり得る危険を除いて絶えず心配することは、人生に恐れと「抵抗」をもたらします。人生の次なる曲がり角を心配し過ぎると、度を越して注意深くなります。あまり心配しなさ過ぎるのも無謀です。その真ん中くらいがちょうどいいのです。

金貨を地に埋めたしもべは、損はしませんでした。しかし、彼の注意深さは何の得にもなりませんでしたし、主人からも誉められませんでした。その代わりに、自分のタラントを取り上げられ、利息を得るリスクをとった他のしもべに渡されてしまいました。あなた自身は、どちらのしもべに似ていますか？

讚美歌 448

祈り 主なる神様。大胆に行動できる霊を与えてください。あなた様が計画してくださった人生を生きるために、バランスの取れた注意深さをくださいますように。

イエス様のお名前によって。アーメン。

フィリップ・パターソン
オクラホマ州 エドモンド

1月29日(火)

イエス様へのプレゼント

聖書朗読 マタイ 26:6~13

「なぜ、この女を困らせるのですか。わたしにりっぱなことをしてくれたのです。」
マタイ 26:10

プレゼントとは、相手との同意や契約なしで贈り物を上げる事と定義できます。愛する人に贈り物をするのは心踊ることです。私は、妻や息子たちにプレゼントするのが好きです。特別の日でない時にサプライズでプレゼントをあげるととても喜ばれます。

イエス様にプレゼントを差し上げた人は大勢います。夕食にイエス様をお招きして食事をプレゼントした人もいました。群衆が多かったので、イエス様が船の上で説教するために使う船をプレゼントした人もいました。イエス様がエルサレムにお入りになる時にロバの子をプレゼントした人もいました。ヨセフはイエス様の亡骸を葬るための墓をプレゼントしました。イエス様に香油をプレゼントしたマリアはその後ずっと語られることになりました。

マリアは香油を無駄にしたわけではありません。自分に与えられたせっかくの機会を見逃したくなかったのです。イエス様の死は近づいていました。そして、時間を大切に使ったのです。彼女は、心から愛するお方のために最良のものを差し上げたくてたまらなかったのです。

私たちはどうでしょうか。あなたはイエス様に何を差し上げましたか。何かプレゼントしたいと思うほど愛していますか。『心を尽くし、思いを尽くし、知力を尽くして、あなたの神である主を愛せよ。』(マタイ 22:37)。この香油を捧げた女性のように心を尽くして見える形でイエス様を愛そうではありませんか。

讃美歌 391

祈り 親愛なる主よ。主を愛する事が何よりも勝るプレゼントです。心を尽くしてあなたを愛する事ができますように。
イエス様のお名前によって。アーメン。

ジョシュ・バーネット
テネシー州 ナッシュビル

1月30日(水)

神に挑戦を挑む

聖書朗読 マタイ 27:32~44

「神殿を打ちこわして三日で建てる人よ。もし、神の子なら、自分を救ってみろ。十字架から降りて来い。」
マタイ 27:40

今日の私たちは、上記の神様に対する挑戦的な言葉がどんなにバカげているかが理解できます。本当にイエス様が十字架から降りてきてしまったら、罪が取り去られることも永遠の命の約束もなくなってしまうのです。福音は、イエス様の死と苦しみと復活によってもたらされました。イエス様は十字架から降りてくることがお出来になりましたが、そうはなさいませんでした。

マタイ 4:1~11で悪魔はイエス様に挑戦しています。『あなたが神の子なら、この石がパンになるように、命じなさい。』、「あなたが神の子なら、(神殿の屋根の端から)下に身を投げてみなさい。」。これは意味のある挑戦のようにも聞き取れます。イエス様は神の子であることを証明するために小さな奇跡を見せられただけでした。しかしながら、悪魔はイエス様が神の子であることを初めから知っていました。そして、イエス様はその時その後起こる事を全てご存知でした。ムチ打たれること、いばらの冠を被らせられること、さげすまれること、十字架につけられること、神様の言葉とご計画が成就することを。神様は私たちを愛するあまり全ての挑戦を受け付けませんでした。その代わりに神様は復活の勝利が待ち受けている事を承知でご自分のひとり子を死に渡したのです。

讃美歌 285

祈り 親愛なる主よ。福音をありがとうございます。私たちを愛するがゆえにご自分のひとり子を与えてくださったことにより、神様を信じる者は誰でも滅びる事なく永遠の命を授かる事ができます事を感謝いたします。
イエス様のお名前によって。アーメン。

マーシャ・D・ドウェル
テキサス州 ヘロテス

1月31日（木）

神様は今日も招いておられる

聖書朗読 マルコ 1：12～20

わたしは、世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます。

マタイ 28：20

マルコの福音書は、マタイやルカによる福音書と違ってイエス様が誘惑されたことに関しては短く記載しています。しかし野の獣と共におられたことには、言及しています。そして、バプテスマのヨハネの逮捕とイエス様のガリラヤでの説教と話が続きます。『時が満ち、神の国が近くなった。』イエス様のメッセージはシンプルでした。悔い改めて福音を信じるように説きました。

それから、イエス様は最初の4人の弟子をお選びになりました。ペテロとアンデレの兄弟と、ヤコブとヨハネの兄弟でした。4人とも全員が漁師でした。またもイエス様はシンプルな言葉でこうおっしゃいました。『わたしについて来なさい。人間をとる漁師にしてあげよう。』

マルコの福音書だけ読むと突然の出会いのように見えますが、ヨハネの福音書を読むと、イエス様は以前にこの4人に会ったことがあるのがわかります。彼らはバプテスマのヨハネの弟子であった可能性があります。そしてイエス様にお会いして説教を聞いたことがあるのです。

私たちも同じように悔い改めて、福音を信じ人間をとる漁師になるように、今日、神様から招かれているのです。

讃美歌 187

祈り 主よ。あなた様の弟子になって、神の福音を他の方々と分かち合う勇気を与えてください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

マイケル・モス

ウエストヴァージニア州 パーカーズバーグ

2月1日（金）

へりくだった王様

聖書朗読 マルコ 11：1～11

その子はすぐれた者となり、いと高き方の子と呼ばれます。また、神である主は彼にその父ダビデの王位をお与えになります。彼はとこしえにヤコブの家を治め、その国は終わることがありません。

ルカ 1：32～33

大統領も、王も、そして有名人でさえ旅行するときは格好良くします。王の王がエルサレムにロバに乗って入って行ったとは、なんと皮肉なことでしょうか。大人であるイエス様が小さな動物の背中に乗っている様子は滑稽に見えたと思います。王様には見えませんでした。ユダヤ人が期待していたような偉大な救い主には全く見えなかったことでしょう。イエス様は期待されていたようなことは、ほとんどなさいませんでした。

イエス様は王には見えませんでした。そこにいた人々は特別な存在だと認識し、敬意を払い、王様であるかのように接しました。その数日後に、同じ人たちがイエス様に反旗を翻し十字架にクギ付けてしまったのは悲しいことです。

イエス様は王様でしたが、ユダヤ人が求めていた形の王様ではありませんでした。ローマの支配から解放放ったり、偉大な地上の帝国を支配することはなさいませんでした。その代わりに、主に従う人々の心を支配され、永遠に続く霊的な王国を建てあげてくださいました。

讃美歌 162

祈り 親愛なる主よ。この世に来てくださった神様の御子イエス様をありがとうございます。私たちがイエス様を王様とし、残りの人生を主のために生きるように助けてください。

主の御名によって祈ります。アーメン。

フィリップ・エイクマン

サウスカロライナ州 アーモ

2月2日 (土)

厄介と取るか，好機と取るか

聖書朗読 マルコ 1：35～39

このように、あなたがたの光を人々の前で輝かせ、人々があなたがたの良い行いを見て、天におられるあなたがたの父をあがめるようにしなさい。マタイ 5：16

何かをしている時に邪魔が入り一時停止しなければなかった経験をしたことがありますか。そういう時、心の状態はどうなりますか。イライラしますか。焦りますか。困惑しますか。面倒なことになったと思いますか。私たちの主にも毎日邪魔が入り一時停止することがありました。ペテロはイエス様の祈りを遮りました（マルコ1：37）。カペナウムで主が説教中にも男たちが話を遮りました（マルコ2：2～5）。船で眠っていた時も弟子たちに眠りを遮られました（マルコ 4：21～34）。一緒に歩いていた群衆が押し迫っていた時、切羽詰まった一人の女性がイエス様を遮りました（マルコ 5：21～34）。シモンの家では、重い罪を悔い改めた女性がイエス様を遮りました（ルカ7：36～38）。

私たちは邪魔が入り一時停止しても、その後は元の生活に戻るものと考えます。人生において邪魔が入ることはよくあります。イエス様はそういう場合にどう対応するかを示してくださいました。イエス様はそれを好機と捉えたのです。厄介な問題あるいは面倒なこととは考えませんでした。何かが突然起こっても主はいつも教え、仕え、愛してくださいました。イエス様はいつも困っている人たちに答え祝福されました。

小さなことでも大きなことでも何らかの邪魔が入り一時停止しなければならなかった場合、誰かに仕える機会だと思いなさい。イエス様がなさったように対応しなさい。そうすれば、その厄介な一時停止は好機となることでしょう。

讃美歌 312

祈り 父なる神様。私たちに突然何かが起こった時、イエス様がなさったように他の人を祝福する行動が取れるようにしてください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

サリー・ジェイン・シャンク
オクラホマ州 エドモンド

2月3日(日)

どんどん増える恵み

聖書朗読 マルコ 6：30～44

神は、あなたがたを、常にすべてのことに満ち足りて、すべての良いわざにあふれる者とするために、あらゆる恵みをあふれるばかり与えることのできる方です。

Ⅱコリント 9：8

「雨が降る時は、一気にどしゃ降りに降る!」。あるいは、同じような意味のアラム語のことわざが当てはまるかもしれません。イエス様の弟子たちは初めての宣教旅行から疲れ果てて帰ってきました。その時、全員が敬愛していたバプテスマのヨハネが殺されたことを知るので。そして休憩する暇もなく、イエス様から数千人もの空腹の人たちに食事を与えるように言われました。

この数千人に食事を用意した話を覚えていますか。イエス様は、ほんの少しの魚とパンを取り、祝福し、弟子たちに渡し、その数千人全員がお腹いっぱい食べ、余った量は初めの量より多かったという話です。

後に、最後の晩餐で弟子たちとの食事の時には、イエス様はパンを取り、祝福しそれを裂き弟子たちに与えました（マルコ 14：22）。5千人に食事を与えた時とほとんど同じ言葉が使われています（マルコ 6：41）。そして、このパンはイエス様ご自身のお体を意味すると説明しています。

私たちがイエス様に（弟子たちのように）従い、十分に養っていただくなら、際限なく助けていただけて、神様から与えられたどんな務めも全うできるのです。もしそれが（弟子たちがそう思ったように）不可能に見えることであったとしても。これが大切なキーポイントなのです。

讃美歌 332

祈り 親愛なる主よ。困難に陥った時、私の持っている小さいものを祝福してください。今日出会う方々と増えていくすばらしい主の恵みを分かち合うことができますように。ありがとうございます。

イエス様のお名前によって。アーメン。

イアン・K・シェルバーン
テキサス州 アビリン